AMERICAN WORKING VEHICLE

アメ車を〝働くクルマ〟として使うオーナーたち

撮影◆竹内公憲　原稿◆石井秋良

社用車が宣伝カーになり愛車でもあるライフスタイル

01 ワイズファクトリー 山本成樹氏

看板のデザイン、制作、施工からバイナルグラフィックを駆使した本格的なショーカー製作まで手掛けるY's FACTORY山本氏の愛車と仕事ぶりを徹底リポート。

遊び心と才能で個性的な唯一無二を発信

大阪は枚方市に店舗を構えるワイズファクトリー。実はこのショップ、これまでにも数々のショーカー製作で本誌に掲載されている。例えば、2年ほど前に表紙を飾った赤いフォード製のキャンピングカーではボディのバイナルグラフィックを担当しており、これまでにもアストロやカマロなど数々のカスタムカー製作に携わるなど、担当ショップの裏で活躍し続けてきた縁の下の力持ち的存在なのだ。

バイナルグラフィックとは、パソコンであらかじめクルマのサイズに合わせた絵やラインなどをデザインし、ステッカーを直接ボディに張ることをいう。クルマの印象を画期的に変化させてみたいけれど、カスタムペイントほど大掛かりな作業は予算的にちょっと厳しいとか、気に入らなくなったら張り直せるという気軽さから、近年定着してきた新たなカスタム手法といえる。

それら作業は、主に貼人グラフィックスという名称で親しまれ、カスタムペイントに匹敵するボディアクセント。ユーザーはもちろん、業者からの問い合わせも多数寄せられている。また、ワンポイントでラインをアクセントとして取り入れてみたり、刺し色を使ったツートンカラーなど気軽に愛車のイメチェンが可能なだけに、クルマのみならずバイクにバギーなど、様々なお客さんが来店するのも特徴だ。

さらにオリジナルナンバーフレームやウェアグッズ、オリジナルロゴ入りステッカーの製作など、カークラブには嬉しいアイテムの製作も手掛けるなど、その才能は多義にわたる。それらアイテムは、デザイン制作からアイテムの仕上げに至るまでのすべてを自社で仕上げているため、一点のみのオーダーも受け付けている。

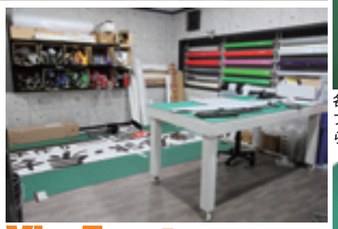
実際、ウェア関係のオーダーとなると少数での発注を受け付けていない業者も多いのだが、一点からでも製作してくれる同ショップには、カークラブからの依頼が大半を占めているらしい。ステッカーからナンバーフレーム、Tシャツやトレーナーといった各種アイテムのすべてをここで製作してもらえるので、業者のみならずユーザーからも重宝されているのだ。ちなみに関西近郊のイベントでもブースを出展しており、アメ車に限らず日本車や欧州車など、ジャンルを問わず様々なカークラブからのオファーが殺到している。

これだけクルマのネタが尽きないショップではあるが、実は看板のデザイン、製作、施工を本業として活動しており、そこで活躍しているのが、ここに紹介するラムバンなのだ。オレンジとブラックのツートンにバイナルグラフィックでグリーンの刺し色をアクセントとしたボディ、クロームの大口径ホイール、内装総張り替え、モニター、オーディオ装着など、一見するとショーカーのような美しい仕上がりを見せる。「果たしてこのクルマが本当に作業者として活躍しているのか?」と疑問にさえ思えてくるが、ラゲッジスペースを確認すると立派な作業車として活躍しているのが分かる。実際の現場作業を見させてもらったのだが、カスタムインテリアにはミスマッチに見える脚立や工具も、なんだか様になって見えるから不思議だった。

看板は大きいものから小さいものまで様々。主に飲食店や美容室などでよく目にする看板をお店のイメージにあわせデザインして、施工まで一貫して同ショップで行なっており、エスティマをセカンドカーとして活躍させてはいるが、どうしても幅の広い物だと収まりきらない。そんな時、ラムバンの広大なラゲッジスペースが大活躍する。たくさんのお店の顔作りに貢献し続けているのだ。

看板屋さんと聞くと、2tトラックにタオルを頭に巻いてTシャツの袖を腕まくりした職人っぽいイメージを抱きガチだけど、世間を見渡せばこんな風にユニークで遊び心に満ちたショップもあるもんですね。

フロントシート以外は取り払い、そこへ仕上がった看板や脚立、工具などを積み込んで現場へとラムバンを走らせる。オーディオはスペースを損なわない程度に省スペースでインストールさせた。荷物も遊び心も満載である。



Y's Factory

【ワイズファクトリー】

大阪府枚方市東香里新町4-12
TEL：072-860-2323　Fax：072-860-2324
http://www.y-s-factory.com/

デザイナーのアメ車だけにそのセンスは抜群

フルサイズバンをベースに現代風カスタムを施すラムバン。オレンジ×ブラックのツートンにグリーンの刺し色をバイナルグラフィックでフィニッシュさせ、商用ベースには見えない仕上がり。モニターやオーディオのインストールに内装張り替えなど、プライベートでの使い勝手を両立させたインテリア空間。

各メーカーから様々なナンバーフレームがネットや広告などで販売されているが、同ショップの魅力は何と言ってもその形状。ロゴなどをフレームからはみ出させ、立体的なデザインで特殊製作するため、よりインパクトのあるナンバーフレームに仕上げる。ロゴのデザインからバランス、カラーまでMacを駆使してフルオリジナルで製作可能。アナタ好みのオンリーワンフレームをオーダーしてみては？

特殊機材の高熱で衣類へ直接プリントをその場で行なう。この作業はロゴの切り出しなど細かい作業が続くのだが、さすがはプロ。30分程でサクっと仕上げてくれた。今回特別にアメ車マガジンのロゴを用いてナンバーフレームやステッカー、トレーナーを製作してもらった。それらは読者プレゼントにて提供いただいているので興味をお持ちのアナタは今すぐ読プレコーナーへGO！